

# 福岡マラソン2016の開催結果について

## 1 福岡から糸島へ、1万人を超えるランナーが駆け抜けた大会

- 今年で第3回目を迎え、定着化を図る。
- 今回から、より多くの人に参加いただけるような工夫も。
  - マラソンの定員増加：10,000人→11,000人（1,000人増）
  - ボランティアも増加：3,200人→4,000人（800人増）
  - 「ボランティア枠」「アジア枠」の募集
- 大会を盛り上げるゲストランナー
  - 小嶋 由水さん（バルセロナ五輪出場者）
  - 道下 美里さん（リオデジャネイロパラリンピック銀メダリスト）
  - 尾崎 好美さん（ロンドンオリンピック出場者）
- 天候に恵まれ、良いコンディションで実施できた。
  - 天候：晴れ
  - 気温：最高：22.6度、最低：11.4度
  - 風速：3 m/s（軽風）
  - ➔リタイヤを除き、全員が制限時間内に無事完走！



### 【マラソン結果】

- 出走者数  
・10,827人
- 完走者数  
・10,447人（完走率96.5%）

### 【車いす競技結果】

- 出走者数  
・8人
- 完走者数  
・7人（完走率87.5%）

### 【ファンラン結果】

- 出走者数  
・1,702人

## 2 糸島の「おもてなし」をランナーの皆さんへ

- 福岡マラソン糸島協会や市民による「おもてなし」
  - 沿道声援等
    - ・コース終盤となる糸島地域では、生演奏、横断幕・のぼり旗設置などのほか、900人を越えるボランティアを中心に、多くの市民が声援を送った。（東中やるキッズなど）
    - ・900鉢を越える花のプランターがコースを華やかに彩った。
  - フィニッシュ会場 もてなし会場
    - ・37団体が、糸島の食などを提供・販売
    - ・糸島カキ、糸島牛、糸島豚、いのしし肉、みかん…etc
  - ➔多くの皆様のお陰で、ランナーからは、多くの感謝の声をいただいた。
- より愛される大会を目指して
  - 3回目を終え、改善すべき点も見えてきた。愛される大会を目指し改善を重ねていきたい。



# 筑肥線 筑前前原・波多江駅間の新駅について

## 1 新駅名の案をJR九州へ提案

### ■新駅名案「糸島高校前」

➢筑肥線新駅建設促進会の「地域対策・駅名検討部会」で検討

#### 【決定理由】

- ①駅名に“糸島”が入ることにより、糸島市の位置を多くの方にイメージしてもらいやすい
- ②歴史ある糸島高校の発展につながるとともに、文教地区としての発展につながる

### ■駅名案は、JR九州へ

- 駅名は、JR九州で調整・決定されることになる。
- 11月21日にJR本社（福岡市博多区博多駅前）に要望書を提出
  - ・鉄道事業本部 古宮洋二本部長（常務取締役）
  - ・「地元の方に親しんでいただけるような駅名にしたい」とのコメントをいただいた。



## 2 駅舎建設に向けて

### ■新駅設置予定

- 平成31年春の開業を予定
- 請願駅であるため駅舎建設に必要な経費は地元が負担
  - ・設計費（約3,100万円）及び建設費（約9.8億円）
  - 国庫補助金、保留地等の売却益、寄附金を充てる予定
  - うち、寄附金として今年2月には九星飲料工業から1億5000万円（目録）をいただいた。

### ■新駅建設に対する「ふるさと応援寄附」の状況

➢ふるさと応援寄附（平成28年10月31日現在）

【合計】67,683,687円

※平成28年度：21,071,600円

（内訳）個人：20,221,600円（398人）

団体：850,000円（6団体）

### ■糸島高等学校 生徒の取組

- 通学時の最寄り駅として新駅の存在は大きい
- 新駅設置に向けて、署名や寄附のお願い等にご貢献
- 文化祭の売上げ金を駅舎の建設費用として寄附（昨年に引き続き、今年も寄附予定とのこと）



### ■進む土地区画整理事業

- 新駅周辺の開発が進み、多くの皆様が生活を始めている。
  - ・現在、378名が入居
- 新行政区「伊都の杜行政区」を設置

⇒今後、より多くの皆様に入居いただきたい。